

議事3 今後の予定

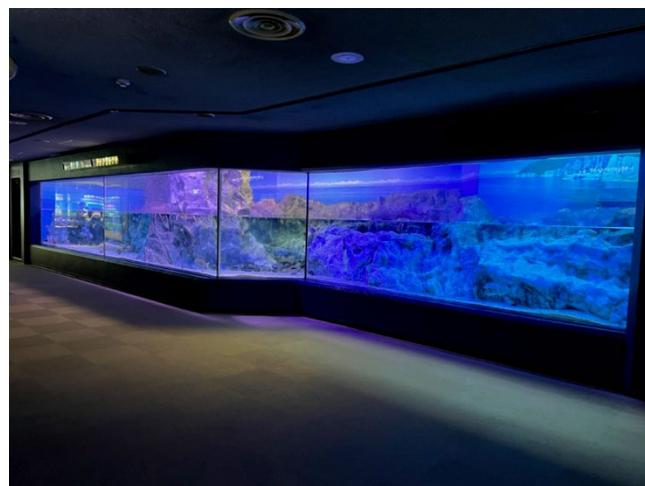
コミュニケーション

- 漁業者（市内漁業者、県漁業関係団体、大臣許可漁業団体）との対話の継続実施
 - ・ 魚類への音の影響の実験視察（後述）
 - ・ 調査・検討の進捗について、“ニュースレター”配信
 - ・ 漁業協調策継続対話；温暖化の緩和と順応、電力の活用等の観点から（既存形態の尊重と次世代事業展開の可能性）
- 海運関係者への情報提供・意見交換の継続実施
 - ・ 調査・AIS解析結果の情報提供・意見交換
- イベント実施時などの機会に合わせて、市民への情報提供・アンケート等実施
 - ・ 海洋教育フォーラムでのパネル展示
 - ・ あーとびる麦生（風況調査箇所）でのパネル展示

先進地視察

■ 魚類の音に対する影響実験視察

- 実施日：2022年11月16日・17日・18日
- 場 所：青森県営浅虫水族館（青森県青森市）
- 参加者：地先漁業者、県漁業関係団体等を予定
- 視察内容：一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所が実施する実験の視察
スルメイカの実験映像の上映
情報提供、その他ディスカッション



浅虫水族館

事業性の検討

- これまでの調査データに基づき条件整理、ケース想定を引き続き検討
- 調査データ解析による、事業性に係る条件の検討
 - ・ 浮体や係留の形式・工法検討のための波・流れ・水位の解析
- 風況観測データの取得を待ち、事業性検討の精緻化
 - ・ 風況観測データの間接整理、発電電力量の予察、来年度WRFシミュレーションによる風況解析精緻化準備
- 事業スキーム検討のための、海外事例も含めた情報収集
 - ・ 当該海域の諸条件にマッチしたケースの想定
- 地元ニーズを踏まえた“地消”の可能性検討
 - ・ 事例・次世代技術情報の収集と法的裏付けの整理

導入可能性量とCO₂削減効果の算出

- 専門家及び事業者ヒアリング等に基づき、洋上風力発電事業のライフサイクルを把握し、CO₂排出量及びその削減効果を検討
 - CO₂排出量計算に必要な与条件を整理し、現地調査結果及び資料調査結果から、与条件の精緻化を検討する。
 - 電力中央研究所資料等に基づきライフサイクルCO₂排出量を推定する。（来年度）